

## 目標達成計画

事業所名 ケアパートナー森伸小俣

作成日 : 平成 24年 1月 6日

評価結果

市町提出日 : 平成 24年 1月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜問わず入居者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	入居者を含む避難訓練の回数を重ね、全員が迅速に避難できる体制をつくる。 自治会等に働きかけ、近隣・地域の協力をさらに得られる関係をつくる。	大がかりな避難訓練は、今まで通り年3回以上実施し、その都度自治会・近隣に協力を呼び掛ける。 日常的に生活の中で、避難経路を使った移動・避難方法を身につける機会を持つ。	12 か月
2	10	○運営に関する入居者、家族等意見の反映 入居者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者や職員からの伝達や報告だけでなく、入居者や家族からの要望や希望・意見を聞き取る機会を増やしていく。	日常の関わりや面会時来館時に気付いた事や希望等を聞き取るよう心掛ける。 家族へのお便りの形式を見直し、家族からの意見が反映される物に改善する。	3 か月
3	49	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者一人ひとりの希望を聞き、本人が行きたい場所へ出かけられる機会を設ける。	認知症があり自身の要望を伝えるのが困難な入居者にも、家族や以前の生活から希望を導き出す。 写真・市内の地図・案内書等からの情報も活用し、本人の希望を導き出す。 定期的に出かけられるよう計画する。	6 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。